

AIで効率的な物流管理



東レエンジニアリングDソリューションズは、人工知能（AI）を使って効率的な販売開始する。

「隣の棚から誤って取ってしまった」といった人為的ミスが発生しがちだ。誤出荷を防止するためAIの画像認識機能を活用。あらかじめ学習させた出荷物の外観・形状を基にAIが正しい出荷物を判断する。

TONOPSロジスティックスの試験導入で出荷準備にかかる時間は25%、誤出荷も30%削減できた事例もあるという。システム技術者は「非熟練者でもすぐに対応できるなど（業務の）平準化効果が大きいとの声があった」と話す。

出荷後の配送管理でもAIが最適化を提案。1台のトラックがどんな順番で拠点を回るかをAIが指示する。

「日中の配達は不可」といった到着時間の細

東レエンジニアリングDソリューションズ

かな範囲指定がある。AIで特定の時間帯に定めて最適化を図ることができる。

題だった。「画像で確認したい」という現場のニーズに応えた。商品が重なって置かれている場合でも一部の特徴から正確にピッキン

グできるといふ。

到着の時刻や、有料道路の使用有無、過去のデータから予測した渋滞情報、車両台数など

これまでルートの見直しに数時間かかっていたところ、TONO

PSロジスティックスによる配送管理で数分に短縮。使用トラックの台数も10%削減でき、実証結果もあった。

生産計画を立案する

「TONOPSスケジューラ」、生産管理を行う「TONOPS生

産管理」の既存シリーズに物流管理システム

が加わることで、生産率化が実現できるとし

ていて。

製造業を中心に、小

売業、外食産業での導

入を目指す。

産機・設備

出荷と配達で工程を最適化

内での商品を棚からピッキングのルートを指示する

一般的にバーコードやRFID（無線自動識別）などのタグで出荷確認が行われているが、出荷物によっては商品に貼付するのが難しい形状もある。貼付する手間やコストも課

題だった。「画像で確認したい」という現場のニーズに応えた。商品が重なって置かれている場合でも一部の特徴から正確にピッキン

グできるといふ。

到着の時刻や、有料道路の使用有無、過去のデータから予測した渋滞情報、車両台数など

これまでルートの見直しに数時間かかっていたところ、TONO

PSロジスティックスによる配送管理で数分に短縮。使用トラックの台数も10%削減でき、実証結果もあった。

生産計画を立案する「TONOPSスケジューラ」、生産管理を行う「TONOPS生産管理」の既存シリーズに物流管理システム

が加わることで、生産率化が実現できるとし

ていて。

製造業を中心に、小売業、外食産業での導入を目指す。